

I. 答申内容

(別紙)

(1) 重要無形文化財の指定及び保持者の認定 (各個認定)

年齢は令和4年7月22日現在

重要無形文化財	保 持 者		
名 称	氏名 (芸名)	生年月日 (年齢)	住 所
(芸能の部)			
しゃくはち 尺八	のむら まさや 野村 正也 のむら ほうざん (野村 峰山)	昭和32年7月12日 (満65歳)	愛知県名古屋市
ぎだゆうぶししゃみせん 義太夫節三味線	たちばな まゆこ 立花 繭子 つるざわ つがじゆ (鶴澤 津賀寿)	昭和32年8月12日 (満64歳)	東京都目黒区

(2) 重要無形文化財の保持者の追加認定 (各個認定)

年齢は令和4年7月22日現在

重要無形文化財	保 持 者		
名 称	氏名 (芸名)	生年月日 (年齢)	住 所
(芸能の部)			
のう かた 能シテ方	おおつぼ きんじ 大坪 近司 おおつぼ きみお (大坪 喜美雄)	昭和22年5月30日 (満75歳)	神奈川県横浜市
かぶきたちやく 歌舞伎立役	かわむら としゆき 河村 順之 なかむら ばいぎよく (中村 梅玉)	昭和21年8月2日 (満75歳)	東京都中央区
ながうたうた 長唄唄	いしかわ こういち 石川 公一 きねや とうせい (杵屋 東成)	昭和24年4月24日 (満73歳)	大阪府大阪市

II. 解説

〔（１）重要無形文化財の指定及び保持者の認定（各個認定）〕

（芸能の部）

1 尺八 ^{しゃくはち} 野村 ^{のむら} 正也 ^{まさや}（芸名 野村 ^{のむら} 峰山 ^{ほうざん}）

「尺八」は、昭和 57 年 4 月 20 日に重要無形文化財に指定されたが、平成 30 年 8 月 21 日、保持者の逝去により指定が解除された。今回、改めて指定するとともに、野村氏をその保持者として認定するものである。



野村 正也氏



（演奏中の野村氏）

（１）重要無形文化財の指定について

① 名称 尺八

② 重要無形文化財の概要

尺八は竹製縦吹き^{ひとよぎり}の管楽器^{ふけしゅう}の一種で、雅楽に使用した「古代尺八」、一般的な尺八より短く、近世に流行した「一節切」、普化宗^{こむそう}で用いた「普化尺八」、さらに普化尺八を基にした「新尺八」などがある。古代尺八や一節切による演奏伝承は途絶えたが、江戸時代に普化宗の法器として普化僧（虚無僧）によって演奏された普化尺八は、江戸時代中期に初世黒澤琴古^{くろさわきんこ}によって集成され、これが琴古流の系統となった。

江戸時代には尺八を一般には奏することが出来なかったが、明治 4 年に普化宗が

廃されて後は、広く人々によって愛好されようになり、洗練された。息遣い、指遣い、首の操作などによって様々な音色、音の強弱や揺れなどを作り出し、精神性をも感じさせる表現を創出する。尺八本曲の演奏に加え、箏や三絃との合奏も行われ、日本伝統音楽の一つとして特色を発揮している。流派には、^{きんこ}琴古流や^{とざん}都山流をはじめ、上田流、^{ちくほ}竹保流などがある。

以上のように、尺八は、芸術上特に価値が高く、我が国の音楽史上特に重要な地位を占めるものである。

(2) 保持者の認定について

① 保持者

氏 名 ^{のむら まさや}野村 正也 (芸名 ^{のむら ほうざん}野村 峰山)

生年月日 昭和 32 年 7 月 12 日 (満 65 歳)

住 所 愛知県名古屋市

② 保持者の特徴

同人は、伝統的な尺八の演奏技法を高度に体現する演奏家として活躍し、卓越した技量を示している。また、斯界の発展及び後進の指導・育成にも尽力している。

③ 保持者の概要

同人は、尺八愛好家であった父の手ほどきで尺八を学び始め、ほどなく^{すずきおうざん}鈴木鷺山や^{さかこうざん}坂鋼山の指導を受け、高校在学中に第 1 回^{とざん}都山流尺八本曲コンクール全国大会で金賞を受賞するなど、早くから頭角を現した。NHK邦楽技能者育成会第 22 期生としても研鑽を積んだ同人は、以後、本格的に^{とざん}都山流尺八演奏家としての道を志し、^{やまもとほうざん}初世山本邦山(平成 14 年重要無形文化財「尺八」(各個認定)保持者)にも師事して更に技芸を磨いた。昭和 52 年、都山流尺八師範検定試験を首席登第、同 59 年には大師範、平成 8 年には^{ちくりんけん}竹琳軒大師範を受け、都山流尺八の演奏技法を高度に体現する演奏家の一人として、斯界において重要な位置を占め、活躍している。

同人は、都山流尺八本曲の独奏や合奏をはじめ、箏、三絃とのいわゆる三曲合奏でも優れた演奏成果を示している。とりわけ^{なかおとざん}初世中尾都山による都山流本曲について、楽譜や口伝に基づく入念な演奏解釈を行い、曲の成立背景をも踏まえた演奏は高く評価されている。また作曲にも力量を発揮し、多くの作品を世に出している。

後進の育成にも尽力しており、主宰する峰山会で一門を指導するほか、公益財団法人^{とざん}都山流尺八楽会主催の研修会等で演奏家の育成に当たり、愛知県立芸術大学や東京芸術大学、名古屋芸術大学において非常勤講師を務めている。

以上のように、同人は尺八の技法を正しく体得し、かつ、これに精通するととも

に、その技法を高度に体现している。

④ 保持者の略歴

- 昭和 42 年 父の手ほどきで尺八を学び始める
- 同 44 年 ^{すずきおうざん}鈴木鶯山に師事
- 同 47 年 ^{さかこうざん}坂鋼山に師事
- 同 50 年 第 1 回都山流尺八本曲コンクール全国大会金賞
- 同 52 年 NHK 邦楽技能者育成会 22 期生修了
- 同 52 年 ^{やまもとほうざん}初世山本邦山に師事
- 同 52 年 都山流尺八師範検定試験首席登第
- 同 59 年 都山流尺八大師範
- 平成 4 年 第 18 回都山流尺八本曲コンクール全国大会文部大臣奨励賞
- 同 7 年 平成 6 年度 (第 49 回) 文化庁芸術祭音楽部門芸術祭賞
- 同 8 年 都山流尺八^{ちくりんけん}竹琳軒大師範
- 同 17 年 愛知県立芸術大学音楽学部非常勤講師 (現在に至る)
- 同 27 年 平成 26 年度 (第 69 回) 文化庁芸術祭レコード部門優秀賞
- 同 28 年 東京藝術大学音楽学部非常勤講師 (同 30 年まで)
- 同 30 年 名古屋芸術大学芸術学部非常勤講師 (現在に至る)
- 令和 2 年 令和元年度 (第 70 回) 芸術選奨音楽部門文部科学大臣賞
- 同 2 年 東京藝術大学音楽学部非常勤講師 (同 4 年まで)
- 同 4 年 一般社団法人日本尺八演奏家ネットワーク代表理事 (現在に至る)

(3) 備考

同分野の既認定者

(死亡解除)

^{のうとみ やすじ}納富 安治 (芸名 ^{のうとみ じゅうどう}納富 寿童)

(昭和 42 年 4 月 10 日指定・認定～同 51 年 2 月 24 日指定・認定解除)

^{やまぐち ごろう}山口 五郎

(平成 4 年 5 月 15 日認定～同 11 年 1 月 3 日認定解除)

^{しまばら しげぞう}島原 重蔵 (芸名 ^{しまばら ほんざん}四世 島原 帆山)

(昭和 57 年 4 月 20 日指定・認定～平成 13 年 12 月 15 日認定解除)

^{やまもと やすまさ}山本 泰正 (芸名 ^{やまもと ほうざん}山本 邦山)

(平成 14 年 7 月 8 日認定～同 26 年 2 月 10 日認定解除)

^{あおき しずお}青木 静夫 (芸名 ^{あおき れいおう}青木 鈴翁)

(平成 11 年 6 月 21 日認定～同 30 年 8 月 21 日指定・認定解除)